

令和2年度環境経営レポート

(令和2年4月～令和3年3月)



地域ボランティア清掃写真

株式会社マベック

作成日
令和3.5.10.

環 境 方 針

《基本理念》

株式会社マベックは、建築物の建設及び維持管理事業に関し、自然環境への負荷を極力少なくし、自然環境との調和がとれた事業活動を目指します。

《行動指針》

1. 株式会社マベックにおける活動に関連し、環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして取り組み、継続的に改善していきます。
 - ① エネルギー（電気、ガソリン、軽油）の節約
 - ② 廃棄物分別の徹底と廃棄物排出量の削減
 - ③ 節水
 - ④ 4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）の推進
 - ⑤ 業務災害・現場事故の絶滅
 - ⑥ 環境を配慮した設計及び資材による施工
2. 環境保全に関わる法令・規則・条例等を遵守します。
3. 行政機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動に対し、積極的に参画し、社会貢献活動を推進します。
4. 環境活動レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。

制定日：平成19年12月1日

改訂日：令和2年6月23日

株式会社マベック
代表取締役 坂田辰雄



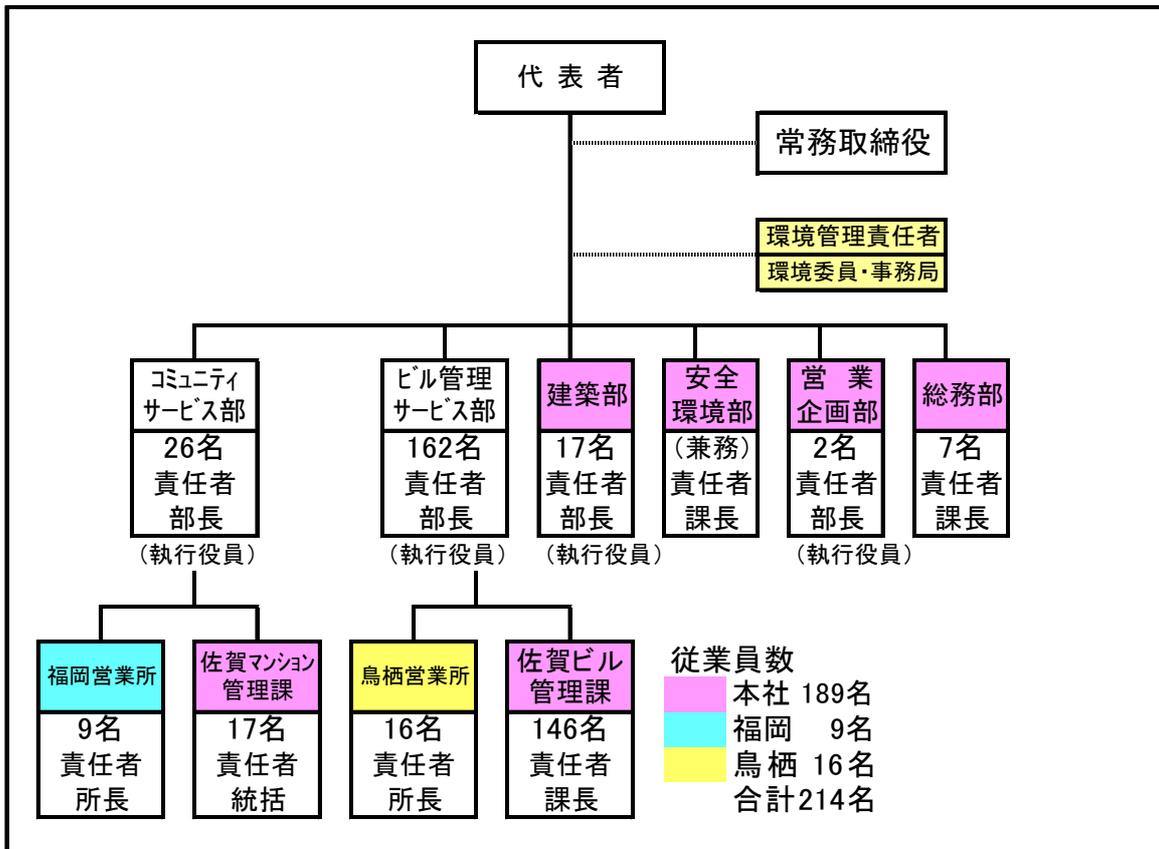
1. 組織の概要

- 事業所名 株式会社マベック
- 代表者氏名 代表取締役 坂田辰雄
- 所在地 ○ 本社: 〒849-0924 佐賀市新中町11番18号
TEL:0952(32)1855(代表)・FAX:0952(32)2792
- 環境管理責任者 総務部庶務課 南里 武伸
担当者 同上 荒木 太一郎
- 事業内容 ○ 事務所、ビル、施設、病院の清掃・設備保守
○ 分譲マンションの管理運営
○ 事務所、店舗、施設等の新築・リフォーム
○ 住宅の新築・リフォーム
○ とび・土工、法面処理
- 事業の規模 事業期間: 4月～翌年3月

	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①～③ 売上計	百万円	2,153	2,700	2,240
従業員数	人数	210	222	214
床面積	m ²	950	950	950
①本社 売上高	百万円	1,786	2,319	1,826
従業員数	人数	184	196	189
床面積	m ²	734	734	734
②福岡 売上高	百万円	216	234	241
従業員数	人数	10	10	9
床面積	m ²	137	137	137
③鳥栖 売上高	百万円	150	147	173
従業員数	人数	16	16	16
床面積	m ²	79	79	79

- 設立 昭和60年7月1日
- 資本金 2,000万円
- 営業所 ○ 福岡営業所: 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-4-9
TEL:092(522)0321・FAX:092(531)3418
○ 鳥栖営業所: 〒841-0062 鳥栖市幸津町1763番地2
TEL:0942(84)5130・FAX:0942(84)5131
- 認証登録範囲 取組対象範囲は全組織(本社、福岡営業所、鳥栖営業所)
取組活動は全活動(事業内容)

環境推進体制



組織の役割・責任・権限

組織	役割・責任・権限
代表者	全体を統括、環境方針設定、環境取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
環境管理責任者	環境管理責任者として、エコ21ガイドラインに沿った事業活動を構築し、運用し、その状況を代表者に報告する。
環境委員会	定期に開催し環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議する。
(電気・水担当)	電気、水使用量、コピー用紙使用枚数管理。
(ガソリン担当)	ガソリン・軽油消費量管理、エコドライブ促進、社有車カーシェアリング利用促進、タイヤエアア補充確認。
(産業廃棄物担当)	事務所・建設現場での廃棄物分別・リサイクル促進、廃棄物排出量管理。
環境事務局	エコ文書及び記録類の作成・維持・管理。

2. 環境目標とその実績

① 環境目標(3ヶ年)

項目	令和元年度 (30年度比0.1%削減)	令和2年度 (30年度比0.2%削減)	令和3年度 (30年度比0.3%削減)
CO2排出量	127.8t-co2	127.6t-co2	127.5t-co2
電気使用量	90,734kwh	90,643kwh	90,553kwh
燃料使用量	41,131ℓ	41,090ℓ	41,048ℓ
水道使用量	1351.6m ³	1350.3m ³	1348.9m ³
廃棄物最終処分量	237.8t	237.5t	237.3t
コピー用紙使用枚数	614,385枚	613,770枚	613,155枚

② 主な環境活動計画内容

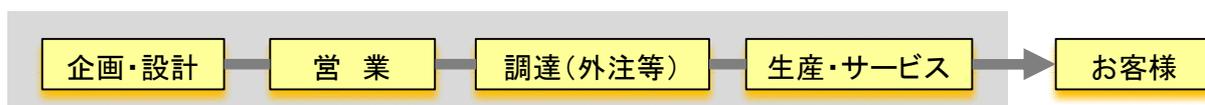
項目		目標達成に必要な具体的活動
(1) Co2削減	電気・冷暖房使用量節減	エアコン室温設定、冷房時28℃、暖房時20℃ 時間外の空調使用は最低限に、退社部門は冷暖房オフ 不用照明消灯、退社・退出時および昼休み消灯励行 退社時はパソコン電源オフ エコスタイル・クールビスで省エネ参加
	燃料使用量節減	エコドライブ推進 給油表管理提出 社有車のカーシェアリング利用促進 社有車の小型車・低燃費車へ転換 現場内での車両のアイドリング・ストップ
(2) 水道使用量節減		洗車はバケツで手洗い励行 蛇口の水量をしぼる
(3) 廃棄物最終処分量削減		廃棄物の分別廃棄 最終処分量削減
(4) コピー用紙使用枚数節減		両面印刷・両面コピー促進 会議資料のペーパーレス化 電子文書活用 ミスプリント防止 裏紙利用
(5) 地域清掃		県下一斉清掃活動(6月) 地域清掃(毎月) 生産現場の公衆衛生活動
(6) 4S活動推進		毎週月曜日全員参加で、敷地・事務所建物の整理(片付け)、整頓、清潔、清掃活動を行う。建設現場等は曜日を決めて実施
(7) 環境配慮事項の推進	・太陽光発電やLED照明等資材や機材の促進	販売件数で把握(100万円以上) ・太陽光発電設置件数 ・LED照明設置件数
	・創意工夫や工期の短縮、VE検討、手戻り防止などの推進	労働災害で休業4日以上 ³ の災害:目標0件 重大なシックハウスに関わるクレームをなくす:目標0件

③ 環境負荷実績

令和2年度(R2年4月～R3年3月)事業活動における環境負荷実績は下記の通りです。

【INPUT】

エネルギー投入量		基準年比	前年比
・ 電気	71,008 kwh	78%	83%
・ 都市ガス	115 m ³	110%	111%
・ ガソリン、軽油	38,578 l	91%	97%
物質投入量			
・ コピー用紙	586,750 枚	95%	100%
水資源投入量			
	1,397 m ³	103%	86%



【OUTPUT】

大気への排出		基準年比	前年比
・ CO2	114 トン-CO2	89%	93%
水域への排出			
・ 排水	1,397 m ³	103%	86%
排出物			
・ 廃棄物 (最終処分量)	345 トン	144%	150%

購入電力の排出係数 0.347kg-CO2/kwh (平成30年度調整後排出係数)

◎実績数値

項目	区分	平成30年度 (基準年)	令和2年度	(令和2年度内訳)		
				本社	福岡	鳥栖
Co2 排出量 (トン-CO2)	事務所	123	112	81	23	8
	現場	4	2	2	0	0
	計	127	114	83	23	8
電気使用量 (kwh)	事務所	78,581	66,130	41,449	17,714	6,967
	現場	12,244	4,878	4,878	0	0
	計	90,825	71,008	46,327	17,714	6,967
水道使用量 (m ³)	事務所	722	712	433	147	132
	現場	631	685	685	0	0
	計	1,353	1,397	1,118	147	132
燃料使用量 (リットル)	事務所	41,172	38,578	28,429	7,443	2,706
	現場	0	0	0	0	0
	計	41,172	38,578	28,429	7,443	2,706
産廃最終処 分量(トン)	事務所	72	60	57	0	3
	現場	166	285	285	0	0
	計	238	345	342	0	3
コピー用紙 枚数(枚)	事務所	615,000	586,750	411,500	138,750	36,500
	現場	0	0	0	0	0
	計	615,000	586,750	411,500	138,750	36,500

3. 環境活動取組結果の評価及び次年度の取組内容

① 環境活動の取組結果の評価

管理項目	令和元年度		評価
	目標	結果	
CO2排出量	127.6t-co2	114t-co2	達成(10%削減)
電気使用量	90,643kwh	71,008kwh	達成(21%削減)
燃料使用量	41,090ℓ	38,578ℓ	達成(6%削減)
水道使用量	1350.3m ³	1,397m ³	未達成(3%増加) 建設現場の増加による。
廃棄物最終処分量	237.5t	345t	未達成(44%増加) 建設現場の増加による。
コピー用紙使用枚数	613,770枚	586,750枚	達成(4%削減)
4S活動推進	毎日朝礼後、班に分かれ敷地と事務所建物を清掃した。 毎週月曜日は社員全員で清掃活動を実施した。		
環境配慮業務推進	太陽光設置件数 0件、LED照明設置件数 1件(100万以上) 労働災害休業4日以上 0件(建設業 0件、ビルメンテナンス業 0件)		

② 次年度の取組内容

主な環境活動計画内容と同じ内容で次年度についても取り組み、省エネ・省資源等を目標に環境活動を実施する。

4. 代表者による全体評価と見直し・指示

① 環境活動の取組結果の全体評価

- 1) 次のような環境活動を通じて、社員の環境意識がより高まった。
 - ・ 社員参加による日々の清掃活動。
 - ・ 組織的な整理整頓活動。
- 2) 水道使用量及び廃棄物最終処分量削減の未達成は仕事量の増による。

② 見直し・指示

- 1) 4S活動を継続し、職場環境の向上を図る。
- 2) 廃棄物の3R(発生抑制、再使用、再生利用)を促進する。
- 3) 水道使用量削減に心掛ける。
- 4) 廃棄物最終処分量削減に心掛ける。
- 5) 引続き労働災害発生防止、再発事故防止に努める。

5. 関連法規等の違反、訴訟等の有無

弊社に適用される環境関連法規等について確認・評価した結果、違反は有りません。また関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も有りません。

以上